

のうね Nounet+ PLUS

秋号 人と地域をつなぐ情報誌

のうねの郷コミュニティセンター短期講座
『巻いてみよう！飾り巻き寿司』
10月14日(金)



第2弾、第3弾もあるのぜひ参加してくださいね



いつもの食卓をちょっと華やかに楽しくおもてなし。今回はハロウィンにちなんで、おばけかぼちゃの飾り巻き寿司に挑戦しました。

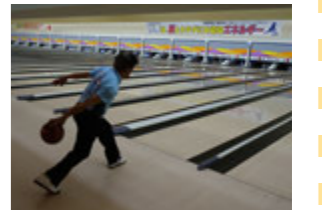
今年もやります イルミネーション点灯

今年で3回目の『味岡山イルミネーション』
昨年より更にスケールアップして味岡山の東西に幻想的な光が浮かび上がります。
みなさんお楽しみに！

★イルミネーション点灯期間★
12月1日(木)～1月31日(火)
毎日17時30分～21時まで



国体に向け高まるスポーツ熱



2000年の富山国体の時に日本一に輝いている加藤さん。今も現役選手として週に20ゲーム以上プレーしながら、チーム福井の指導者としてコーチング、マネージングに力を入れています。
加藤さんのすごさを知るために、最高スコアをお聞きしたところ、当然のように最高スコアは300

点満点、これまでに20回以上は出しているそうです。スコアはレーンコンディションによって大きく変わり、競技用のレーンはすごく難しく設定されていて、そのレーンの特色をつかみ、最高のスコアを出すのが大切とのこと。
2年後のふくい国体では、選手としての参加の可能性もあるが、

加藤 佳伸
(かとう よしのぶ)
1961年生まれ
丸岡町堀水区在住
国体4回出場(富山、兵庫、和歌山、岩手)

監督としての参加が濃厚です。とにかく入賞は最低目標、少しでも上位に入りたい。そのためにチーム福井では、日本のトップポラーラーに年5回くらい指導に来てもらい強化を図っていると話す加藤さん。
加藤さんのされている競技ポリングとは少し違うようです。加藤さんの今後の活躍を期待するばかりです。

編集後記

▼秋号の発行に向けてこの時期、芸術の秋、真只中である。芸術といえば、美術鑑賞がある。趣味に任せて多くの美術館に行ってきた。しかし、これからの時期は美術館に行かなくても、あちこちの野や山で木々たちが黄色く、赤く色づき、自然が織りなす色彩の造形美が我々の目を楽しませてくれる。ゆっくりと自然に触れて、大いに美術鑑賞をしてはいかがでしょうか。(S)

第11回 坂井市花壇コンクール結果

長畝地区で受賞された各地区のみなさんです。
おめでとうございます！

- 入賞 文京区 与河社会推進委員会
- 努力賞 松川子ども会

これからの予定

- ☆1月19日(木) 坂井市丸岡自治区長会
- ☆2月5日(日) 短期講座『簡単そば打ち教室』『本格そば打ち教室』
- ☆3月12日(日) 短期講座『飾り巻き寿司』
- ☆3月26日(日) ふるさとウォーキング

関伽井(塔の池)
豊原寺縁起によれば、秦澄大師が越知山から東北の方角に紫雲がたなびいているところを見つけ天女の常衣に至り、ここに草庵を建てたこと、薬師講の参拝者に加持香水としてたどった清水のひたし。

CONTENTS

- ✓ 特集一のうねシルバーフェスタ&郷まつり 豊原古道トレイル&フットパスツアー体験会…P.2~3
- ✓ トピックス…P.4~5
- ✓ 歴史の場所を歩く⑮…P.7

* 豊原古道トレイル&フットパスツアー体験会 *
豊原の自然と歴史にふれながら約8kmのコースを散策

豊原古道トレイル&フットパスツアー体験会



▲新たに6箇所に看板を設置



▲危ない箇所は事前に点検!



▲いざ、しゅっぱーつ!!



▲頂上達成して、清々しい顔の子どもたち



～1300年の時を経て自然豊かな里山にたたずむ
信仰の郷～

今回で10回目を数えるこの施策、今年度は福井県指定「ふくいのSatoyamaトレイルイベント」事業、また昨年同様長畝小学校4年生親子学年行事ともコラボし、10月23日(日)「越前豊原古道トレイル&フットパス体験会」を開催いたしました。小学校親子、先生方70名、一般の方40名の合計110名が参加。当日は晴天に恵まれ絶好のフットパス日和となりました。

豊原滝へ行く坂道や化生ヶ岳山道などの急斜面を子どもたちは楽しく、大人たちは悪戦苦闘しながら、心地よい秋風の中、豊原の自然と歴史を堪能することが出来ました。体験会終了後はのうねの郷コミュニティセンターで「豊原そうめん」をふるまい、疲れを癒していただきました。当日ご参加いただいた皆さまありがとうございました。

(文:ふるさと部会)

10月23日(日)

▲延命地藏堂の話に聞き入る参加者たち



▲校長先生も一緒にフットパス



▲歴史ある豊原史跡の説明



▲険しい山道でも余裕?のピース!

▲山城山城跡の展望台に上って、わが長畝を眺めました。青空がまぶしいよ～



▲登りきった化生ヶ岳の頂上。深沙大王立像の前で記念撮影しました♪

▶あたたかい「豊原そうめん」で体の中からあたたまりました



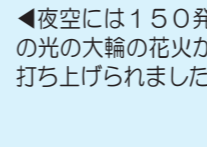
体験コース順路(約8km)

豊原三千坊史跡館～豊原滝～ガーデンヨハラ～延命地藏堂～関伽井～旧白山神社～化生ヶ岳山頂～延命地藏堂～山城山城跡～六地藏～豊原滝～のうねの郷コミュニティセンター

のうねシルバーフェスタ&郷まつり



◀福井の“きままる”こと岡田純平さんの軽快なトークに会場は笑笑笑!!



◀夜空には150発の光の大輪の花火が打ち上げられました



◀小学校児童やつぼみ保育園児などのステージ発表に大きな拍手が湧き起こっていました



9月25日(日)

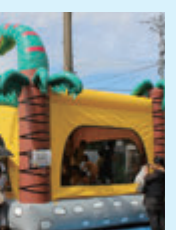
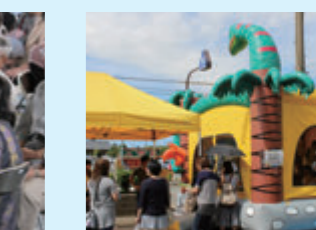
9月25日(日)『第3回のうねシルバーフェスタ&郷まつり』が行われました。当日は気温も上がり夏を思わせる日和の中、焼きとり、おろしそば、おろし餅、丸岡中学校ボランティアによる東日本大震災復興支援グッズ販売などが行われました。同時に、長畝小学校体育館では、各畝地区敬老会が開かれ、各地区の高齢者243名が参加され、ステージ発表に大きな拍手を送っていました。また各種団体や小学校、保育園児の作品展示では、来場された皆さんが力作揃いに目を向けていました。

恒例のお楽しみ抽選会においては、1等の若狭牛(2万円相当)の当選者が現れず、振り替えられるというもったいない一幕もありました。

夜には長畝小グラウンドで総踊りが行われた後、150発の花火が打ちあがりイベントのフィナーレを飾りました。

今後もしろいろな反省点を踏まえ、更によりよいイベントとして、盛り上げていきたいと思えます。

最後に区長会をはじめ、各種団体並びにご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。(了)



最 第48回丸岡古城まつり 最後の城主に扮し長畝の魅力をPR

10月9日（日）丸岡古城まつりが開催されました。今年度、市制10周年記念事業として丸岡地区の各まちづくり協議会が盛り上げようと、五万石パレードに参加することになりました。

わがのうねの郷づくり推進協議会は、最後の丸岡城主である有馬道純隊に扮し、長畝地区は「古くは継体天皇の出自の伝説があり、有馬家が伝えた伝統行事日向神楽や、白山信仰の聖地である豊原三千院があるなど歴史文化・史跡にあふれた地区」であることや、演舞ポイントでは日向神楽の舞を披露するなど広くアピール出来ました。普段着ることがない羽織袴を身にまとい、丸岡の町中を練り歩き、最後は古城公園ステージにて、まちづくり協議会を代表した挨拶を行うなど、大観衆の前での挨拶はとても緊張いたしました。大変貴重な体験ができました。

（文：小林寛史）



▶演舞ポイントでは長畝日向神楽の舞で長畝らしさをアピールしました



▲◀のうね郷協と長畝小学校3年生親子の約100名が参加。お揃いの青いTシャツで「We love noune!」のかけ声で見事敢闘賞をいただきました



▶古城下に設置したイルミネーションの灯りが池に映りきれいでした
▲今年は丸岡体育館壁面にも登場しました



中 第12回 歴史講座 世期の豊原と称念寺の新事実

去る8月27日（土）第12回『歴史講座』が開催されました。講師は長崎称念寺の高尾誠住職で、「豊原と中世期の寺院」という演題で鎌倉から室町時代に活躍していた豊原寺と称念寺の関係を資料をもとにわかりやすく話されました。

特に印象的な話は中世の寺院は、宗教活動に加えて生活に密着した商社活動もしていたということです。三国湊から兵庫川を伝って荷物を輸送する仕事に寺も関わっていたということを実証的に話されました。また、豊原寺と称念寺は白山信仰をもとに深いつながりがあり、称念寺には豊原から阿弥陀本尊が移されたということや、反対に称念寺から一偏上人名号と遊行縁起絵巻が移されたという事実があるという、これまでにない歴史の視点で話され、深い感銘を受けました。



晴 第2回『長畝地区親睦グラウンドゴルフ大会』 天の下、45人が競い合う

好天に恵まれた9月24日（土）霞の郷グラウンドゴルフ場で長畝地区親睦グラウンドゴルフ大会が開催されました。参加者は男性26名、女性19名でいずれも60歳以上のベテランが揃いました。感嘆の声があちらこちらから聞こえ、実力は伯仲し甲乙つけがたい楽しい競技になりました。次年度は、初新者の参加を願って、さらに数多くの参加を増やしていきたいと思ひます。（文：大嶋 誠）

入賞者	男性の部	女性の部
	優勝 加藤 幸夫さん	優勝 古市 育子さん
	2位 永井 昭人さん	2位 松山 テル代さん
	3位 東 優さん	3位 上内 とし子さん

古 7つのまちづくり協議会連絡会が記念品 城下に「おもてなしベンチ」設置

バス利用者や丸岡城を訪れる観光客をおもてなしにと、9月30日（金）一筆啓上茶屋前の丸岡城バス停前にベンチを設置しました。丸岡地区の7つのまちづくり協議会で組織する、丸岡地区まちづくり協議会連絡会は市制10周年記念し、共同で丸岡城周辺に何か記念になるものをと協議し、1.2m幅の背もたれ付きベンチを2基贈呈しました。ベンチからの丸岡城の展望は一見に値いし、心安らぐ場所です。機会がありましたら、一息入れてみてはいかがでしょうか。



Do you know.NE? の〜ね!

10月24日

子ども重点見守りデー、で
通学路の安全再確認!



▲西川福井県知事に付き添われ、下校する児童たち

▼はびりゆうも一緒に校門で児童を見守りました



▲毎日、子どもたちの安全を見守っている地域の有志団体のみなさん

10月24日(月)、28年度「子ども重点見守りデー」が長畝小学校にて行われました。昨年度、のうねの郷づくり協議会が福井県安全安心まちづくり協議会から地域防犯活動で表彰されたことを受け、今回長畝小学校で行うことになったものです。

当日は、のうねっ子見守り隊・坂井交通安全協会・のうねの郷づくり推進協議会・長畝小学校PTAの方々をはじめ、西川一誠福井県知事・猪原誠司福井県警察本部長・森近悦治福井県教育長・川元利夫坂井市教育長が来賓として出席されました。

はじめに見守り隊の方やお世話になっている地域の方々に児童からのお礼の言葉を述べ、知事のお話を聞いた後、全員が一斉に下校しました。

知事をはじめ来賓の方々も「見守り隊」として児童の安全確認をしながら一緒に歩いて下さいました。知事に話しかけられたり、いつもより多くの方々に見守られたりと子ども達も緊張しながらも笑顔で下校していきました。

THE 長畝遺産

長畝の郷に2つの小学校

長畝小学校の歴史



▲現在の篠岡小学校跡地

昔、長畝の郷には2つの小学校があったことをご存知ですか? そう、一つは現在の長畝小学校、もう一つは? 90歳を超えたお年寄りには記憶があるに違いありません。この郷の南側、篠岡小学校(正しくは尋常小学校)がありました。

現在の丸岡高校グラウンドを見下ろす坂道南側、今はうつそうとした杉林になっています。その旧校地には土地所有者となった清水孝治さんのお宅があるだけ。清水さんのお話によると昭和42年ごろまでは林に囲まれる形で校舎の一部が残っていたようです。

昭和8年には「教育の充実」という文部省のお声がかかりがあり、長畝小学校と合併、廃校となりました。篠岡校区では強い反対があったそうですが……

篠岡小学校については公式な記憶や資料は何も残っていないということですが、わずかにある資料残片によれば篠岡小学校の児

童数は明治43年で268人、大正7年で320人だったようです。現在の長畝小学校とほぼ似た規模だったんですね。

長畝尋常小はこの合併に際して上長畝にあった校舎を廃校とし、現在の松川に生まれた新築校舎に移りました。学校の2つの引越しがあったわけです。

今の長畝小学校は南の篠岡集落方面、北の長畝集落方面からの子たちが「おはよう」と仲良く出会うことで毎日が始まっています。



丸岡高校のある丘を愛宕山といいます。味岡山と並んで丸岡の東部にある丘陵地帯では篠岡に属します。以前はクヌギなどの雑木が生えていて荒れた里山でしたが、昭和49年に丸岡高校移転のため山が削られ、整地されました。今は愛宕山という名称すら忘れられて、丸岡高校の白亜の校舎がそびえ、ここで学ぶ若人の青春の思い出の地としてなっています。

また、江戸時代末期には、この愛宕山の北端に丸岡藩の鉄砲



明治以前には丸岡の歴史に深いつながりを持つ寺社がいくつもありました。また、丘の南側には丸岡藩の組頭の屋敷がならんでいたといえます。丸岡藩では、この愛宕山は東方の守りを固める重要な施設を置く場所として位置付けていたようです。

施設の位置関係は下の図のとおりです。以下、施設について簡単に紹介します。

愛宕社 もとは豊原にあったが柴田勝豊が丸岡城を移転したころに山から降ろされました。祭神は愛宕

大権現 将軍地蔵で火の神様ということで防火の神様として祭られました。円福院が別当として世話をしてきた関係で明治になって石城戸の円福院境内に移され、愛宕神社として残されています。今も石城戸町では8月24日の火祭りが行われています。

山王社 有馬時代に創建されました。日吉神社と関係あり、山王権現は山岳信仰の天台宗が融合した神佛融合の一種で、比叡山の守り神、日吉神社で祭られています。

東照宮 有馬時代に延岡から移された。有馬直純は徳川家康に対して深い関係にあったので延岡時代に直純の遺言によつて建立されたといえら



地蔵・大仏堂 現在石上区ふれあい会館の前にある地蔵堂です。天保時代の飢饉の折に死者を供養して建てられたと伝えられています。以前は石上の松盛家の前に建てられてあったと伝えられています。(丸岡町史)

このように愛宕山は丸岡藩と深いつながりをもった山であり、柴田勝豊が丸岡城移設の折には城近くの聖域として多くの寺院がここに置かれました。しかし明治維新により、廃仏毀釈の嵐の中でこの地の寺社はことごとく避難を余儀なくされ、あるものは他の寺社に合祀されて丸岡町内へ移ったり、あるものは廃壊されました。(文責 水崎亮博)

ています。越前国誌には「神祖廟」と記載されているが、これは徳川家康のことを神祖として崇めたことを物語っています。

高岳寺 丸岡藩主有馬家の墓所で歴代城主および奥方の墓地になっています。